

# 夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **薬剤師**

その仕事や夢を選んだ理由  
両親が医療関係者で小さいころから、身近な存在だからです。

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう  
大学に必要な学費や家賃、勉強道具の準備資金を蓄える  
寄り添うための精神力、地域にあつたコミュニケーション、体力。

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳	小学校 友達と仲良くし、相手の立場になって気持ちを考える。本をたくさん読む。
13歳	中学校 大好きなダンス、部活で体力と精神面を鍛える。
15歳	中学校 塾に入って、苦手な英語を中心に理科と数学を勉強する。
16歳	高校 理系を選び、科学と生物に力を入れる。
18歳	高校 父の仕事場で、アルバイトを行い薬の説明の仕方を学ぶ。
19歳	大学 大学に必要な学費や家賃、勉強道具の準備資金を蓄える。寄り添うための精神力や地域にあつたコミュニケーション、訪問する材料も必要です。そして国家試験の受験勉強を
25歳	毎日欠かさずやります。そして合格したら、沖縄に戻ります。
26歳	父の職場で薬剤師として在宅訪問を中心に楽しく
38歳	はたらきます。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと  
日本一周で親孝行する。  
貯金したお金で友達と爆買いをする。

## 薬剤師になる

うるま市立天願小学校 六年 笠原 ほたる

私の夢は薬剤師です。なぜかというところから医療関係者で母が理学療法士、父が薬剤師をしています。私が体調を崩したとき、父は症状を聞いて判断する様子に、知識の深さや薬の選び方の確さに圧倒されてしまいます。そのため小さいころから医療が身近な存在で、自然と「私も薬剤師になりたい」という気持ちが芽生えました。中でも私が目指したいのは父と同じ在宅専門の薬剤師です。体調が悪くて薬局まで取りに行けない患者さんに薬剤師が家まで出向いて、使い方を説明し薬を届ける仕事です。

そのためにもまず小学生のころから頑張りたい事があります。友達と仲良くコミュニケーション能力を身につけて、人の話をよく聞いたり、相手の気持ちを考えられる優しさを大切にしたいです。そして本を沢山読んで新しい発見を見つけます。

中学校ではダンスそして部活で体力作りにはげみ、その過酷さを経験し精神面も鍛えられると思います。科目では理科や数学、苦手とする英語を勉強していきます。薬には、成分や量の違いがあるので計算や体のしくみには強くなりたいです。苦手な英語を克服するためにも、塾に入って基礎を固めて高校受験に臨みたいと思います。

高校では薬学部に進学できるように理系を選び、特に化学と生物の理解を深めていく予定です。また父の仕事場でアルバイトを行い、在宅医療を体験し、薬の説明の仕方などを学びます。父は大歓迎と言っていました。

大学は、他県に進み六年間に必要な学費、そして家賃、資格を取るための勉強道具など想像以上にお金が必要です。そのため高校で貯金していたお金を崩し、在宅専門としている薬局でアルバイトを

し貯金をします。年々在宅訪問が増えてきているため、患者さんに寄り添うための精神力やその地域の特性に合ったコミュニケーションや何百件を訪問する体力も必要です。そして薬剤師の国家試験に向けての受験勉強を毎日欠かさずやります。合格できたら、沖縄に帰省して父の職場で働きます。

将来は、在宅訪問とするプロフェッショナルな薬剤師として、父のように薬の力で人の生活を支え、笑顔にできる存在になれるように、これからも一歩ずつ努力していきたいです。その後は貯金をして、人生で一度はやってみたいこと友達との爆買いや、両親と日本一周をして、現地のおいしいご飯を食べて、親孝行をしたいです。

\*こちらは、小学生「夢をかなえる」作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。